

企業組合労協センター事業団

[事業概要-1]

菜の花プロジェクトからBDF事業を展開、地域資源循環システムの構築へ

- ワーカーズコープでは、2007年より菜の花プロジェクトの取り組みを開始した。それは、食・農・環境事業における本格的挑戦のスタートと言えるものである。
- 2008年から成田国際空港を中核とし、周辺にある遊休地・耕作放棄地に菜の花プロジェクトを展開。さらに、成田国際空港内レストラン・ホテル機内食工場等から廃食用油を回収し、BDF(バイオディーゼル燃料)を精製、それをホテルの送迎バスや地元農家の農業機械等に供給。
- この事業の原点には、2005年に厚生労働省からの委託を受けてはじまった「労協若者自立塾」がある。それはいわゆる閉じこもり・引きこもりと言われている、就労困難な若者たちの自立支援の取り組みである。

広大な菜の花畑



ホテルから廃食用油の回収

技術研鑽に励む組合員



「菜の花が世界を救う!」に夢をたくして・・・そして、若者たちに勇気と希望を!

- F(食)・E(エネルギー)・C(ケア) 自給コミュニティの創造と地域資源循環システムの構築をめざして活動している。
- 地域のみなさんに支えられ、ネットワークが構築でき、回収～精製～供給(給油)と一環した流通システムができてきている。

F・E・C自給圏の確立

[事業概要-2]2013年度・事業実施計画

これまでの到達点の上に、さらなる発展を期して計画を遂行する!!

- バイオディーゼル製造・供給・流通に係る施設整備
10万ℓ/年ベースを展望するところまできている廃食用油を原料として、BDFの精製・供給を一層充実していきたい。
今期、1000ℓ/日量規模へのBDFプラントへ拡張し、経営の安定と地域の期待に応えたい。
- バイオディーゼルの品質管理
B100のBDFを精製している。品質においては全項目クリアーという抜群の水準である。自信を持って提供している。
- 事業報告
事業の進捗状況をまとめ、成果・教訓を整理し、関係機関に報告するとともに、情報の共有を行い、事業計画を進める。



BDFプラント



空港送迎バス



養蜂

ミツバチよ飛べ、蛍も飛べ、そして人間こそもっと高く飛べ!!



- 千葉県北総地区を展望した菜の花プロジェクトを展開したい!!
- 養蜂・蛍・食物残渣の回収等新たな活動・事業への挑戦!
- 人と地域、生活と地域に出会いながら、新たな仕事おこしを!!

